

平成から

令和へ

新たな元号が「令和」に変わり、新時代の幕開けとなります。平成23年3月11日に発生した東日本大震災などの自然災害を乗り越え、県西地域の拠点都市として発展を遂げてきました。今月号では、新しい時代への期待とともに、筑西市の平成史を振り返ります。

- 平成 17年 3月 下館市、関城町、明野町、協和町が合併し「筑西市」が誕生
- 平成 18年 3月 市の木「さくら」、花「なしのはな、コスモス」、鳥「つばめ」に決定
8月 「NHKのど自慢」下館総合体育館から全国へ生放送
- 平成 19年 1月 岡山県高梁市と友好都市提携協約の再締結
10月 デマンドタクシー「のり愛くん」運行開始
// 第13回全国報徳サミット筑西市大会
- 平成 20年 4月 住民参加型まちづくりファンド事業開始
8月 女性消防団が発足
- 平成 21年 4月 筑西市はぐくみ医療費支給制度開始
12月 小栗内外大神宮が国の重要文化財に指定
- 平成 22年 2月 県内で初めてとなる消防団機動部隊発足
6月 非核平和都市宣言
- 平成 23年 3月 東日本大震災発生 市内で震度6強を観測
9月 男女共同参画都市宣言
11月 市民病院新病棟（50床）が完成、通常診療再開
- 平成 24年 5月 玉戸地内から蓬田地内に至る地域で竜巻発生
8月 筑西市マスコットキャラクター「ちっくん」誕生
12月 ケーブルテレビ放送開始（下館地区）
- 平成 25年 3月 下館駅周辺のバリアフリー化事業完了
8月 筑西市ご当地ナンバープレート（原付50cc以下）交付開始
- 平成 26年 1月 新川島出張所開所
9月 協和総合庁舎開庁
10月 国道50号下館バイパス全線開通
- 平成 27年 1月 下館学校給食センター完成
3月 筑西市誕生10周年記念式典を開催
8月 筑西市オールロケ映画「十字架」市内限定先行上映会開催
9月 関東・東北豪雨で鬼怒川が溢水。川島、船玉地区で被害
12月 浅草の商業施設「まるごとにつぼん」にPRブースを設置
- 平成 28年 1月 マイナンバー制度がスタート
10月 広域連携バス運行開始（下館駅～筑波山口）
- 平成 29年 2月 市役所スピカ新庁舎開庁、ちっくんひろばオープン
3月 明野支所新庁舎開庁
- 平成 30年 10月 茨城県西部メディカルセンター、筑西診療所開院
県内自治体で初めてとなる「手話言語条例」成立
- 平成 31年 3月 市道田宿・猫島線が全線開通
- 令和 元年 夏 道の駅「グランテラス筑西」オープン
9月 いきいき茨城ゆめ国体開催 筑西市は「剣道」競技会場
11月 第25回全国報徳サミット筑西市大会



新市の名称が「筑西市」に決まる



東日本大震災で本市も甚大な被害



市役所本庁舎がスピカビルへ移転



茨城県西部メディカルセンター開院

市民のみなさんと「心を寄せ合って」市政運営に全力



筑西市長 須藤 茂

「令和」という元号は、日本最古の歌集である「万葉集」の文言から引用され、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められています。響きがとでも美しく、すばらしいと感じています。

この歴史的な転換期に、本市においても道の駅「グランテラス筑西」の開業や「いきいき茨城ゆめ国体2019」、「第25回国報徳サミット」の開催など大きな事業が予定されています。

新しい時代が平和で穏やかに、市民のみなさんが夢や希望をもって暮らせるよう、私も全力で市政運営に取り組みしていきますので、今までも増して、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。